

市民がつくる環境都市こまき

こまき環境広報

編集：こまき環境市民会議

私たちの暮らし方が地球危機を招いています

温暖化に賢く向き合おう

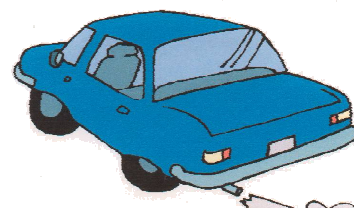
CO₂の削減と家計費の節約

何てったって、クルマの使い方が一番問題です

CO₂の削減と家計を助けるトツバッター **クルマ** を考えてみましょう

1 環境にやさしい運転を心がけよう！

- ・ ふんわりアクセルに徹する
- ・ 急加速・急ブレーキのない運転を
- ・ エンジンをかけたらずぐスタート（暖機不要）
- ・ 30秒以上停車するときはエンジンを切る



環境にやさしい運転を心がければ・・・

何と燃費**25%**が節約できるのです！

ガソリン代**12万円**（年間）の家庭では、**3万円の節約**

2 ちょい乗りはおウチルールを決めよう！ たとえば

- ・ 200m以内は歩いて行こう（片道3分）
- ・ 500m以内は自転車で行こう（片道3分）



1と2を実行すれば、CO₂の更なる削減と燃費30%の節約は确实

3 思い切って通勤を徒歩、自転車、公共交通に替えてみよう！

- ・ 数字に表せないほど計り知れない効果。
- ・ CO₂の削減以外にクルマの維持費が大幅節約



分かっているだけでは何も変わらない。さあ、実行しましょう！

進む地球温暖化！ 市民の無関心が一番怖い 21世紀を生きる子どもたちに責任を持とう

気温は上がっている！

世界全体の陸地での年平均気温は、1880年以降100年あたり、0.74℃の割合で上昇しています。

また、観測史上最も暑い8年が最近10年間に集中しています。1日の最高気温が25℃以上を「夏日」、30℃以上を「真夏日」、35℃以上の日が1990年以降急増したため、「猛暑日」が加えられました。



大雨の日数が増加している！

大雨になる頻度が増えています。最近30年間と20世紀初頭の30年間を比較すると

日降水量200mm以上の日数が約1.5倍になっています。大きな風水害は90年以降に集中しています。

今年（2009年）の九州・中国地方を襲った豪雨がそれを物語っているようです。



このまま温暖化が進むと、どうなる？

温暖な気候なら何ら問題はないのではなく、灼熱化すると一部の学者は言っています。

温暖化を灼熱化と読み替える日が来るかも知れません。これからを予測してみましょう。

- さらに大雨が増え、台風の強度が強まる。
- 豪雨の日数が3倍に！
- 環境難民が増える！

農業生産が減り、栄養失調に苦しむ人が6億人も増える。そして水不足に苦しむ人が18億人も増える。水没の危機にあるのはツバルの国だけでなく、他の多くの国々で海水面が上昇し、3億3千万人が住居を失う。

- マラリア感染に脅かされる人が2～4億人増える。



温暖化は人間の生活により生じるCO₂の増加が主因です。

私たちの役目は、「温暖化を食い止める暮らしの実行」です。

今を生きている子どもたち、これから生まれてくる子どもたちのための、暮らしやすい環境づくりは市民の努めです。